

1. 動機 フィボナッチ数列は 1,1,2,3,5,8,13,21,... と自然数のみで構成されているのに対し、一般項には無理数が含まれている。そのため私は有理数のみで表現することにした。

2. 計算過程

まず、フィボナッチ数列の一般項とは次の式のことである。(ビネの公式と呼ばれている。)

$$F_n = \frac{1}{\sqrt{5}} \left( \left( \frac{1+\sqrt{5}}{2} \right)^n - \left( \frac{1-\sqrt{5}}{2} \right)^n \right)$$

この式を展開すると

$$F_n = \frac{(1+\sqrt{5})^n - (1-\sqrt{5})^n}{\sqrt{5} \times 2^n} \dots \textcircled{1}$$

また、二項展開を用いると  $(a+b)^n - (a-b)^n$  は次のように計算できる。

$$\begin{aligned} (a+b)^n &= {}_nC_0 a^n b^0 + {}_nC_1 a^{n-1} b^1 + {}_nC_2 a^{n-2} b^2 + {}_nC_3 a^{n-3} b^3 + \dots + {}_nC_n a^0 b^n \\ - (a-b)^n &= {}_nC_0 a^n b^0 - {}_nC_1 a^{n-1} b^1 + {}_nC_2 a^{n-2} b^2 - {}_nC_3 a^{n-3} b^3 + \dots \left\{ \begin{array}{l} - {}_nC_n a^0 b^n \quad (n=2k+1) \\ + {}_nC_n a^0 b^n \quad (n=2k) \end{array} \right. \\ \hline (a+b)^n - (a-b)^n &= 2 {}_nC_1 a^{n-1} b^1 + 2 {}_nC_3 a^{n-3} b^3 + 2 {}_nC_5 a^{n-5} b^5 + \dots \left\{ \begin{array}{l} + 2 {}_nC_n a^0 b^n \quad (n=2k+1) \\ + 2 {}_nC_n a^0 b^n \quad (n=2k) \end{array} \right. \\ &= \sum_{k=1}^{\lfloor \frac{n+1}{2} \rfloor} 2 {}_nC_{2k-1} a^{n-(2k-1)} b^{2k-1} \end{aligned}$$

したがって  $a=1, b=\sqrt{5}$  を代入すると

$$(1+\sqrt{5})^n - (1-\sqrt{5})^n = \sum_{k=1}^{\lfloor \frac{n+1}{2} \rfloor} 2 {}_nC_{2k-1} \sqrt{5}^{2k-1} \dots \textcircled{2}$$

よって、②を①に代入すると

$$F_n = \frac{\sum_{k=1}^{\lfloor \frac{n+1}{2} \rfloor} {}_nC_{2k-1} 5^{k-1}}{2^{n-1}} \dots \textcircled{3}$$

そして、 ${}_nC_{2k-1} = {}_nC_{n-2k+1}$  の変換を行うことで③の式は、 $2k-1 \leq \lfloor \frac{n}{2} \rfloor$  の境に、次のように簡略化することができる。

n=8 の時 
$$F_8 = \frac{1}{2^7} ({}_8C_1 5^0 + {}_8C_3 5^1 + \underline{{}_8C_5 5^2} + \underline{{}_8C_7 5^3})$$
  

$$= \frac{1}{2^7} ({}_8C_1 5^0 + {}_8C_3 5^1 + \underline{{}_8C_3 5^2} + \underline{{}_8C_1 5^3})$$

しかし、この変換を行うことによって場合分けをする必要が出てくる。その理由を、例を挙げて説明しようと思う。

n=9 の時 
$$F_9 = \frac{1}{2^8} ({}_9C_1 5^0 + {}_9C_3 5^1 + {}_9C_5 5^2 + {}_9C_7 5^3 + {}_9C_9 5^4)$$

n=10 の時 
$$F_{10} = \frac{1}{2^9} ({}_{10}C_1 5^0 + {}_{10}C_3 5^1 + {}_{10}C_5 5^2 + {}_{10}C_7 5^3 + {}_{10}C_9 5^4)$$

n=11 の時 
$$F_{11} = \frac{1}{2^{10}} ({}_{11}C_1 5^0 + {}_{11}C_3 5^1 + {}_{11}C_5 5^2 + {}_{10}C_4 5^3 + {}_{10}C_2 5^4 + {}_{10}C_0 5^5)$$

これらの  $2k-1 \leq \lfloor \frac{n}{2} \rfloor$  の境を比較するために、 $2k-1$  の数列を考えると

- 1, 3, 3, 1 (n=8)
- 1, 3, 4, 2, 0 (n=9)
- 1, 3, 5, 3, 1 (n=10)
- 1, 3, 5, 4, 2, 0 (n=11)

この数列から読み取れる性質は、

n=8 の時  $2k-1 \leq \lfloor \frac{n}{2} \rfloor$  を満たす最大の  $2k-1$  (以後 M と表すことにする) を境に中心から左右対称の数列になっている。

n=9 の時 (1 から M までの数列) + (0 から M+1 までの数列) となっている。

n=10 の時 n=8 の数列に M を足した数列となっている。

n=11 の時 (1 から M までの数列) + (0 から M-1 までの数列) となっている。

また、12 以降の項も同じような性質を持つので、③の公式は n を 4 で割った余りの 4 通りで場合分けをする必要があることが分かった。よって、 $n \equiv 0, 1, 2, 3 \pmod{4}$  の 4 通りについて③の公式を変形させることにする。なお  $\frac{n}{4} \geq 1$  より  $n \geq 4$  である。

$n \equiv 0 \pmod{4}$  の時

$$\begin{aligned} F_n &= \frac{1}{2^{n-1}} ({}_nC_1 5^0 + {}_nC_3 5^1 + \dots + {}_nC_M 5^{\frac{n}{4}-1} + {}_nC_M 5^{\frac{n}{4}} + \dots + {}_nC_3 5^{\frac{n}{2}-2} + {}_nC_1 5^{\frac{n}{2}-1}) \\ &= \frac{1}{2^{n-1}} ({}_nC_1 (5^0 + 5^{\frac{n}{2}-1}) + {}_nC_3 (5^1 + 5^{\frac{n}{2}-2}) + \dots + {}_nC_M (5^{\frac{n}{4}-1} + 5^{\frac{n}{4}})) \\ &= \frac{1}{2^{n-1}} \left\{ \sum_{k=1}^{\frac{n}{4}} {}_nC_{2k-1} (5^{k-1} + 5^{\frac{n}{2}-k}) \right\} \end{aligned}$$

$n \equiv 1 \pmod{4}$  の時

$$\begin{aligned} F_n &= \frac{1}{2^{n-1}} ({}_nC_1 5^0 + {}_nC_3 5^1 + \dots + {}_nC_M 5^{\frac{n-1}{4}-1} + {}_nC_{M+1} 5^{\frac{n-1}{4}} + \dots + {}_nC_3 5^{\frac{n-1}{2}-1} + {}_nC_1 5^{\frac{n-1}{2}}) \\ &= \frac{1}{2^{n-1}} (5^{\frac{n-1}{2}} + ({}_nC_1 5^0 + {}_nC_2 5^{\frac{n-1}{2}-1}) + ({}_nC_3 5^1 + {}_nC_4 5^{\frac{n-1}{2}-2}) + \dots + ({}_nC_M 5^{\frac{n-1}{4}-1} + {}_nC_{M+1} 5^{\frac{n-1}{4}})) \\ &= \frac{1}{2^{n-1}} \left\{ 5^{\frac{n-1}{2}} + \sum_{k=1}^{\frac{n-1}{4}} ({}_nC_{2k-1} 5^{k-1} + {}_nC_{2k} 5^{\frac{n-1}{2}-k}) \right\} \end{aligned}$$

$n \equiv 2 \pmod{4}$  の時

$$\begin{aligned} F_n &= \frac{1}{2^{n-1}} ({}_nC_1 5^0 + {}_nC_3 5^1 + \dots + {}_nC_M 5^{\frac{n-2}{4}} + \dots + {}_nC_3 5^{\frac{n-2}{2}-2} + {}_nC_1 5^{\frac{n-2}{2}-1}) \\ &= \frac{1}{2^{n-1}} ({}_nC_1 (5^0 + 5^{\frac{n}{2}-1}) + {}_nC_3 (5^1 + 5^{\frac{n}{2}-2}) + \dots + {}_nC_{M-2} (5^{\frac{n-2}{4}-1} + 5^{\frac{n-2}{4}+1}) + {}_nC_M 5^{\frac{n-2}{4}}) \\ &= \frac{1}{2^{n-1}} \left\{ {}_nC_{\frac{n-2}{2}} 5^{\frac{n-2}{4}} + \sum_{k=1}^{\frac{n-2}{4}} {}_nC_{2k-1} (5^{k-1} + 5^{\frac{n}{2}-k}) \right\} \end{aligned}$$

$n \equiv 3 \pmod{4}$  の時

$$\begin{aligned} F_n &= \frac{1}{2^{n-1}} ({}_nC_1 5^0 + {}_nC_3 5^1 + \dots + {}_nC_M 5^{\frac{n-3}{4}} + {}_nC_{M-1} 5^{\frac{n-3}{4}+1} + \dots + {}_nC_2 5^{\frac{n-3}{2}-2} + {}_nC_0 5^{\frac{n-3}{2}-1}) \\ &= \frac{1}{2^{n-1}} (n + 5^{\frac{n-1}{2}} + ({}_nC_2 5^{\frac{n-3}{2}-2} + {}_nC_3 5^1) + ({}_nC_4 5^{\frac{n-3}{2}-1} + {}_nC_5 5^2) + \dots + ({}_nC_{M-1} 5^{\frac{n-3}{4}+1} + {}_nC_M 5^{\frac{n-3}{4}})) \\ &= \frac{1}{2^{n-1}} \left\{ n + 5^{\frac{n-1}{2}} + \sum_{k=1}^{\frac{n-3}{4}} ({}_nC_{2k} 5^{\frac{n-1}{2}-k} + {}_nC_{2k+1} 5^k) \right\} \end{aligned}$$

3. 結論

無理数で構成されたビネの公式を、二項展開を用いて有理数のみで表すことができた。また、コンビネーションの多項式として扱うことで、より無駄のない計算ができる公式を作ることができた。

4. 参考文献 なし